

業績の概況（連結）

当期における損益状況は、経常収益は、国債等債券売却益及び株式等売却益が増加したこと等により、前年同期比916百万円増加して35,597百万円となりました。経常費用は、営業経費が減少したものの、国債等債券売却損、株式等売却損及び与信関連費用が増加したこと等により、前年同期比1,802百万円増加して28,892百万円となりました。その結果、経常利益は前年同期比886百万円減少して6,704百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比1,468百万円減少して4,570百万円となりました。

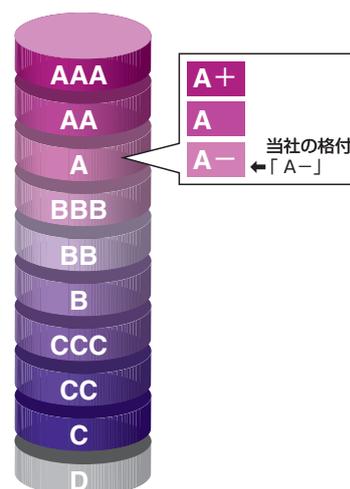
トモニホールディングス連結業績

(単位：百万円)

科目	令和2年 9月期	前年同期比	令和元年 9月期
経常収益	35,597	916	34,681
経常費用	28,892	1,802	27,090
経常利益	6,704	△886	7,590
親会社株主に帰属する中間純利益	4,570	△1,468	6,038
連結自己資本比率	8.76%	0.01%	8.75%

格付

当社は、(株)日本格付研究所（JCR）から、長期発行体格付について「A-」（シングルAマイナス）の格付を取得しており、健全な経営体質が評価されています。



徳島大正銀行・香川銀行（単体）の合算

(単位：百万円)

科目	2行合算（単体）		
	令和2年9月期	前年同期比	令和元年9月期
業務粗利益	23,623	△949	24,572
（うち資金利益）	(23,335)	(△988)	(24,323)
（うち役務取引等利益）	(1,687)	(△198)	(1,885)
経費（除く臨時処理分）	16,175	△1,190	17,365
業務純益	7,171	△36	7,207
コア業務純益	8,708	1,016	7,692
与信関連費用	1,170	1,466	△296
経常利益	7,130	18	7,112
中間純利益	5,050	△450	5,500
本業利益	4,374	844	3,530

※令和2年1月1日付で、徳島銀行と大正銀行が合併し、徳島大正銀行となりました。

令和元年9月期は、旧徳島銀行、旧大正銀行及び香川銀行の合算数値を記載しています。

令和2年9月期は、徳島大正銀行及び香川銀行の合算数値を記載しています。

(単位：億円)

科目	2行合算（単体）		
	令和2年9月末	前年同期末比	令和元年9月末
預金等（譲渡性預金含む）	38,480	2,161	36,319
貸出金	30,066	1,740	28,326
（うち大阪地区貸出金）	(9,622)	(470)	(9,152)
有価証券	6,620	56	6,564
預り資産	2,549	△80	2,629

※令和2年1月1日付で、徳島銀行と大正銀行が合併し、徳島大正銀行となりました。

令和元年9月末は、旧徳島銀行、旧大正銀行及び香川銀行の合算数値を記載しています。

令和2年9月末は、徳島大正銀行及び香川銀行の合算数値を記載しています。